

長野県畜産試験場の研究紹介



所在地

塩尻市片丘 10931-1
(TEL 0263-52-1188)

家畜飼養頭羽数

畜種	成畜	育成・肥育
乳用牛	36	37
肉用牛	28	16
豚	70	240
鶏	1,700	3,000

頭、羽(2026年4月現在)

組織



研究概要

多様なニーズに応える品種の開発

● 主な育成品種

地鶏	信州黄金シャモ®、長交鶏3号、しなの鶏
飼料用ソルガム	スーダン型：涼風 兼用型：華青葉 ソルゴー型：東山交38号
飼料用トウモロコシ	中生品種：タカネフドウ アントシアニン高含有トウモロコシ：AX-152



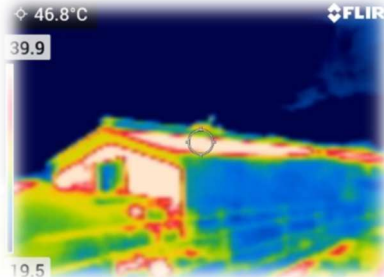
歯ごたえ・おいしさ・風味の3拍子揃った「信州黄金シャモ®」



ソルゴー型ソルガム「東山交38号」(左側)
(右側「風立」)

時代の変化に応じた先進技術の開発

- OPU（経膈採卵）とIVF（体外受精）を活用した体外受精卵の生産と普及
- スマート技術を活用した分娩予測を行う繁殖管理システムの実証
- ドローンを用いた畜舎への暑熱剤散布による暑熱対策についての実証



サーモグラフィカメラによる畜舎屋根表面温度の計測



OPU（経膈採卵）の実施と作製された体外受精卵

現場の課題を解決する安定生産技術の開発

- 遺伝子（ゲノミック）評価と受精卵移植の活用による「信州プレミアム牛肉®」の増産支援
- 特色ある希少品種の活用や脂肪交雑に着目した信州のおいしい豚肉の生産技術開発
- 子実とうもろこしの安定生産技術の開発



「マンガリッツァ純粋種」（左）と「マンガリッツァ種と中ヨークシャー種の交雑種」（右）

地球温暖化に対応した技術の開発

- “スリック牛（被毛が短い遺伝子を持つ牛）”による乳牛の暑熱ストレス軽減策の開発
- 牛の暖気（げっふ）から排出されるメタンガスの抑制技術の開発
- 家畜排せつ物の堆肥化・施用で発生する温室効果ガスの発生低減技術の開発
- 暖地型低硝酸スーダングラスの品種開発



遺伝子あり
被毛が短め



遺伝子なし
被毛が長め

スリック遺伝子を持つ牛と持たない牛の比較

環境負荷軽減及び資源循環技術の開発

- アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理技術の確立
- 地域未利用資源を活用した給与技術の開発
- 家畜糞ふん肥を活用した化学肥料の使用量を削減する技術の開発



止まり木設置効果の確認



臭気の発生を低減する縦型コンポスト